

平成 年 月 日

堺市長 竹山 修身 様
堺市教育委員会 様

堺市南区教育・健全育成会議
会長 中村 浩也

平成 29 年度南区教育・健全育成会議 中間報告について

平成 29 年 4 月 18 日付、堺南企総第 98 号で審議依頼のありました事項について、これまでの検討結果を中間報告として、下記のとおり取りまとめましたので報告します。

1 経過

○計 4 回の会議を開催（4 月 21 日、5 月 26 日、7 月 18 日、8 月 10 日）

※ そのうち、7 月 18 日は、南区選出市議会議員との意見交換会

2 審議事項

家庭・地域における教育・健全育成に向けた取組(学習意欲の向上と生活習慣の定着)について

3 審議の内容

昨年度の提言と南区親子の生活・運動習慣等調査（以下「調査」という）の結果を踏まえ、生活習慣の改善に向けた取組や 保護者への適切な働きかけ等について審議するとともに、子どもが安心できる環境づくりや、学習意欲の向上につなげていく具体的な取組等について審議を進めている。

■現状と課題（課題解決に必要な取組みの検討にあたって）

昨年度の調査結果からも、子どもの生活習慣の向上には、良好な家庭環境や、保護者の意識をはじめとした家庭教育が果たす役割が大きいことが確認できている。同結果からは、南区の家庭の「家族機能」は非常に良いとの結果が得られている。一方、改善する余地のある家庭もあり、南区の家庭環境は、まだまだ良くなっていく可能性がある。

また、全国学力・学習状況調査によると、南区の子どもの生活習慣や学習習慣は堺市平均と同程度の状況であったが、全国平均とくらべると、家庭学習や読書習慣等については改善の必要性も見えてきている。

今年の 3 月に文部科学省から新学習指導要領が告示され、改訂のポイントとして、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」と記されており、今後これら教育に関わる様々な背景も踏まえで議論を進めていく必要がある。

■めざすべき取組みの方向性（提言に向けて）

【学習意欲の向上について】

- ・学習意欲の向上には、単純に学力を上げることに視点を置くのではなく、豊かな基礎体験や問題解決力などの「総合的な学力」を核に、学びの喜びを感じ、学びたいという気持ちを支援するための取組が重要である。
- ・保護者が勉強を強要するのではなく、保護者自身が学ぶ喜びを味わい、理解したり、子どもと一緒に学ぶ喜びや達成した喜びを共有するなど、成功体験を積み重ねていくことが大切である。
- ・本や新聞を子どもの前で読むことにより、子どもも本や新聞に興味を持つようになることが期待される。
- ・普段から活字に触れ、読む力を身につけることにより、様々な知識が深まるとともに、学ぶ意欲や学力にもつながっていくことから、親子の読書習慣を促していくことも重要である。
- ・家庭においても、「何のために学ぶのか」という学習の意義を子どもたちと共有するとともに、保護者が子どもの話をしっかり傾聴し、共に学んでいくことにより、子どもの主体性が育まれ、親子の対話が促進し、深い学びにつながっていく。

【生活習慣の定着について】

- ・保護者自身が生き生きと健康的に生活することは、子どもの生活習慣の向上にもつながることが期待される。また、保護者自身も、余裕をもって親の役割を担うことが可能と考える。
- ・これらの視点と、子どものために保護者がすべきことの2つの視点からアプローチすることにより、効果的な生活習慣の定着が見込まれる。
- ・課題が深刻化してからではなく、「予防」という観点から幅広くアプローチすることが大切である。
- ・南区においても、三原台中学校で推進されている「みんなく(睡眠教育)」とタイアップし、睡眠の学習や重要性を子どもたちや保護者に伝えていくための取組が重要である。

今後、これらの視点を踏まえ、「保護者向け7つのやくそく」の今年度中の作成に向け検討を進めていくとともに、来年度の具体的な施策の提言についてもさらに審議を進めていく。